

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (四国)	-	-	-	-
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・春以降は来街者も多く、消費マインドは向上しているように思われるものの、生活防衛意識はまだ高く、消費は旺盛とまではいえない。ただ、行列店や人気の商品、サービスも生まれており、消費者の求めるものを提供できれば購入してもらえると感じている。
		商店街（代表者）	それ以外	・商店街の空き店舗だったところへ飲食店等が開業している。大きなブランド店もオープンして集客力がアップし、売上も徐々に上昇している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・梅雨入りしても晴れた日が続き、繁華街の人出が平年並みに戻ってきている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・高価格帯の商品、美味しい食品や果物などを提供すると、買上の率が高い。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・来客数はほぼ前年並みだが、客単価は増加している。
		乗用車販売店（役員）	単価の動き	・自動ブレーキの普及に伴って車両価格が上昇している。また、カーナビやドライブレコーダーなど付属品のボリュームも大きくなっている。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	競争相手の様子	・6月1日からビールが値上がりし、売上は少し落ちたが、景気は良くなっている。
		旅行代理店（営業部長）	お客様の様子	・四国デスティネーションキャンペーンの効果もあって四国着地案件は顕著に増加している。週末は街中もかなりにぎわっている。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・雨が少ないこともあり、来場者は増加している。予約状況も、前年より良い状況で推移している。
		設計事務所（所長）	それ以外	・これまで県内にはなかったマンション開発業者が、複数入ってくるようになった。
		商店街（代表者）	競争相手の様子	・5月にオープンした大型ショッピングモールは低調らしいが、近隣の飲食店やス・パ・に与える影響は大きい。地元にとって、新たな大型モールの受け入れはマイナスでしかない。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・必要な物以外、売れない状況が続いている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・夏セールを前倒して開催したことから衣料品が健闘したものの、近隣に大型ショッピングモールがオープンした影響で来店数が減少し、デイリー食品などが苦戦している。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・近くに競合店ができ、客足が回復しない。短いエリアで買い回りができるため、売値を比較して少しでも安く、また買上点数も少なくする傾向にある。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・売上高、来客数共に前年を上回っている。これは企業努力によるもので、景気が良くなっているわけではない。
		衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・売上は前年割れで推移している。来店客数は伸びないので販売機会が少ない。客の動きが鈍くなる時期だが、予想よりも低調である。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・客数も販売量も増加傾向にある。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新車の受注状況は前年を1割程度上回って推移している。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・軽自動車の登録ベースは、5月からの持ち越しのため前年比112%と大きく上回っているが、月間受注台数では前年比87%と下回っている。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・全国的に外国人旅行者が増加しているが、四国はあまり増加していない。	
	通信会社（営業担当）	来客数の動き	・期待したほど販売が伸びない。	
	競輪競馬（マネージャー）	来客数の動き	・来場者数が3月比で2%程度減少している。全体の利用者数も減少しているが、注目レースがあったため、売上は横ばいになった。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・梅雨入りしても雨が少ないので、例年と比べて来客数が少ない。	
	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・外商では、大口の販売の件数、金額共に減少している。	

	スーパー（財務担当）	来客数の動き	・競合店の改装や、業態を超えた新店開店などで客が減っている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・6月の販売量は伸び悩んでおり、景気が良いとはいえない。
	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	来客数の動き	・競合店オープンの影響で、週末の来店客が減少している。
	タクシー運転手	来客数の動き	・6月になってお遍路さんが減っているため、仕事が減り、収入もやや減少している。夏にかけて、たくさん乗車してほしいが、今はまだ暑くなく、街も静かな様子。
	タクシー運転手	お客様の様子	・1日当たりの売上、単価が下落している。若い人は居酒屋からカラオケボックスへ行き、それから帰宅というパターンが多い。スナック等で飲む人は40代以上の人達に限られる。
	通信会社（技術）	販売量の動き	・客の自宅に設置する機器数が、3か月前と比べると減少している。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・髪がまとまりづらくなる梅雨時期はストレートパーマやトリートメントの注文が多いのだが、今年は雨が少ないので客の動きが悪い。
	x コンビニ（店長）	販売量の動き	・例年この時期に売上が伸びていたのに、今年はなかなか伸びず、前年よりも状況が悪くなるのではないかと。
企業動向関連	-	-	-
(四国)	食料品製造業（商品統括）	競争相手の様子	・食品分野において得意とする商品に傾倒・集中した結果、同分野での好調につながっている。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・少しずつではあるが、受注量が増加してきている。
	建設業（総務）	取引先の様子	・地元大手企業の設備投資により、発注が増加している。
	輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・安定している気がする。
	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・春以降、全体的な売上は前年並みであるが、新規取引先の拡大によるところが多く、既存の取引先のなかには廃業する小売店が増えている。全国的に消費マインドは弱い。
	木材木製品製造業（資材購買）	受注量や販売量の動き	・4～6月はほぼ前年並みであった。前年度のマーケット先食い感を懸念していたが、それほどでもなかった。
	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に低位で推移している。主力の造船関連の受注低迷が要因。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型の発電設備の建設を考えているが、国の支援や銀行融資の許可がなかなか下りない。景気はあまり良くない。
	電気機械器具製造業（経理）	受注量や販売量の動き	・販売量が3か月前より増加しているのは、出荷調整の反動増で、市場の需要に大きな変動は見受けられない。
	建設業（経営者）	取引先の様子	・公共事業の端境期に当たり、手持ち業務量が減少している。同業他社や取引先の様子も例年と同様。人手不足が続いており、雇用需要も低下していないようだ。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・少しは受注できているが、まだまだ不十分。
	輸送業（営業）	競争相手の様子	・非正規の賃金が正社員をやや上回る状況がみられる。労働規制が強化される中、運送業全体でドライバーの確保に苦慮しており、基本労働時間を8時間から10時間に延長し、週休3日制を導入する同業者が現れた。休日が増えて残業が減る分、月収も下がり、副業を容認するとしているが、副業による過労から本業に支障をきたす可能性が高い。物流の質の低下を招くことが危惧されるため、当社は採用できない。
	輸送業（支店長）	それ以外	・受注量、収入とも変動はない。燃料費の高騰が経営を圧迫しているが、運賃には転嫁できていない。
	金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先の3月期決算は、業種によりばらつきはあるものの、前年並みを維持している企業が多い。直近3か月の資金需要の動向にも大きな変化はない。
	公認会計士	取引先の様子	・各企業の決算書、試算表等を分析すると、地元の温泉地区を除き、景気はあまり回復していない。
	*	*	*

	x	-	-	-
雇用 関連		-	-	-
(四国)		人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・これまで発注の少なかった病院からの依頼が増えてきている。
		求人情報誌(営業)	求人数の動き	・求人数が高止まりしており、特に中途採用の求人が増加している。来春の新卒採用について各社とも苦戦しており、採用予定数まで達していない企業が多い。さらに内定を辞退される割合も高く、人手不足解消の見通しが立っていない。
		職業安定所(職員)	雇用形態の様子	・今年度の採用者数や賃金、非正規社員の正社員化に大きな動きはない。
		民間職業紹介機関(所長)	雇用形態の様子	・有効求人倍率は堅調である。地方でも雇用意欲が上昇傾向にあるが、パート採用が多く、非正規雇用が増えていると思われる。
		人材派遣会社 (営業担当)	求職者数の動き	・製造業の求人が減っており、派遣業に登録される求職者は以前より改善がみられるも、ミスマッチが多く就労につながっていない。
		職業安定所(職員)	それ以外	・5月の有効求人倍率が1.35倍と、3か月前より0.10ポイント落ちている。
	x	-	-	-